



町長回誌

No.244

町長日誌の第244号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月13日 (火曜日) PM1:00

海岸には流水群が着岸、うまい具合に隙間が出来て青い海原が見える。観光客には最高の冬のオホーツクの姿です。ところが昨夜から西風が吹き出し、今朝は小さな氷塊が無数に見えるだけで流水群は沖合に去ってしまいました。気象予報では4月並みの暖かさになるとか？最近はこの極端な気候が気になります。流水が着岸していても冷え込まず道路の雪が解けてしまう状況は、やはり温暖化なのでしょう？高い灯油代の節約になるのはとても良いことで、温暖化は家計に優しい？と思うとそうでもないのです。昨年夏の暑さは皆さんも記憶に新しいところでしょう。先日、東京で平取町の遠藤町長とご一緒する機会があり、町長から教えられたことは「暑さのためトマトの花が落ちてしまい実にならない！」と言うことでした。このため収穫量が3割程度減ったそうです。平取町は大玉トマトのハウス栽培の先駆けで今年50年を迎えるそうです。トマトの生産量は1万3千トン、栽培面積は100haを超えるとのことでした。新聞では養豚農家も豚の飼育が暑さで困難になっているという報道がありましたが、人間にとって都合の良いことも悪いことも天気次第なのかもしれませんね。

1月25日 (木曜日)

報道では大荒れの天候と言うことで、昨日のうちに学校の休校やゴミ収集の中止を決めました。今年一番の降雪量と吹雪模様と言うことでしたが海に近い所では強い吹雪でしたが内陸部は案外おだやかでした。網走や宗谷方面では国道の閉鎖もあり生乳の集荷が出来なかったところもあったようで、関係機関も心配して連絡をいただきましたが、お陰様で町内では警報が出ていたものの大きな被害もなく一安心でした。

1月26日 (金曜日)

昨日の吹雪も朝方には止みました。今日は高校の入試願書提出日です。昨年興部中学校から興部高校への進学はゼロ人、総体でも7人と大きなショックを受け町はこれまで様々な対策を講じてきました。「興部高校の将来について考える連携協議会」も立ち上げ2回熱心な議論をいただきましたが、今回入学者が10名を切れば来年からの募集停止・廃校が決まってしまうのです。教育長から連絡があり「17名の願書が出ました。興部中学校からは10名います。」と嬉しい内容でした。夜に開催された自治会連合会の新年会で報告したところ皆さんから拍手が起きました。「地元の高校!!」と言う意識が多く町の民にはあることも今回知ることが出来ました。しかし、生徒数の減少は止まりません。今後どのような高校として興部高校を存続していくべきか？協議会を中心にこれからも議論していくつもりです。

最近、気になることがあります。入浴中にお亡くなりになる方が続いています。かく言う私の母も12年前の1月に風呂で亡くなりました。「ヒートショック」と言う言葉を御存じでしょうか？冬場に多いのですが気温の変化によって血圧が上下し心臓や血管の疾患が起きることをヒートショックと言います。2006年と少し古いデータですが交通事故死7千人に対しヒートショックでは倍の14,000人が亡くなっているのです。温かい居間から寒い脱衣所で裸になる時など10度ぐらいの寒暖差があると要注意で、トイレでも起きやすいそうです。高齢者の場合既往症もありますから一概には言えませんが十分ご注意ください。どうか皆様、温かくしてお過ごしください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

